

老朽原発 うごかすな！ ニュース

第49号

発行・老朽原発うごかすな！
実行委員会

【連絡先】
090-1965-7102

6月11日、関西電力へ抗議と申し入れ

傲慢な関西電の態度

6月11日関西電力本店前抗議行動の際、関西電力本店に申し入れを行ないました。「申し入れ人数は5人まで、写真撮影はダメ」とガードマンが言い、本店ビル入り口から二階のロビーまで案内、応対者が現れ



申し入れのために交渉中（中央が瀧川さん）

るまで5分くらい待たされました。応対に出てきたのは総務課の若い社員で、「申し入れ書を受け取るだけと言われてきた」と言い張り、「申し入れ書を読み上げるので聴いて受け取るように」という私たちの主張を聞こうともしません。ロビー中央でのこのようなやり取りが大声で始まったので、ガードマンがまざりと思ったのか、ロビーの片隅に両者を誘導しました。応対者は申し入れに来た私たちを部屋に通すわけでも、申し入れを聴こうとするわけでもなく、要するに、紙切れを受け取りに来ただけなのだと思われま

片隅ではありましたが申し入れ書を読み始めました。応対者は仕方なしに聞いていました。申し入れ書を読んでいた途中、私たちの一人がカメラを触ると、読み上げの途中にもかかわらず、「写真を撮ってください！」と本人に詰め寄りました。まさに私たちが幾度も経験したことのある労務屋的対応そのものです。読み上げが終わってからの話をしようと言われ、読み上げを続行しました。読み上げが終わった後、応対者は「申し入れの主旨は承りました。受け取りをし、上司に伝えます」とも言わず、先ほどの「写真問題」を蒸し返したことは私たちがもびつくりしました。私たちはカメラの撮影履歴を示し、写真を撮影していないことを明らかにし、その上で応対者に謝罪させました。

関西電は、電力供給という公的企業にもかかわらず、一部の人間の利益が追求される企業となり、「人間を大切にすることからかけ離れた企業に墮落しています。人の意見

再度、関西電力前で抗議行動（6月18日） 避難など、到底無理！

6月18日の関西電力本店前の「緊急抗議集会」に参加した。久々の関西電力本店前である。そして集まった顔なじみの方々とは3月20日の高浜原発現地行動以来だ。雨の降る中、関西電力の中の社員に向かつての訴えや各地からの報告、力強いコールは届いただろうか。

23日の再稼働を目前に、市民によるあらゆる抗議行動が取られているが、世間の関



挨拶する宮崎さん（6月18日）

を聴く度量もなく、傲慢極まりない関西電には原発をうごかす能力も資質もありません。（若狭の原発を考える会 瀧川）

心は薄く、コロナの影響も加えメディアに登場することも少ない。ましてやその中でも一般大衆向けテレビなど皆無に等しい。23日当日には「福島第一原発事故後初めて40年超えの原発が今日起動されました。」くらいの報道はなされるのだろうか。

原子炉容器や電気ケーブル、配管などの劣化や破損、地震の基準地震動及び火山灰の過小評価、ずさんな避難計画、どれをとっても再稼働などとうてい許されるものではない。

その中でも脱原発はりまアクシオンが毎週金曜日に関電姫路支店（その後姫路駅前）で昨年からわかりやすいように集中して訴えるのは「コロ



6・18抗議行動、最後のシュプレヒコール

で頑張っておられる方々と集まり情報を得て、意見交換し充電することの大切さを再認識した。特に、いつものMさんの小柄だが全身ふりしぼっ

6月20日、美浜でのアンケート調査に参加 福井の皆さんの意気込みを感じながら

オール福井反原発連絡会は、街頭宣伝、チラシの新聞折り込み、福井県知事に対する美浜3号機再稼働同意撤回を求める署名、美浜町全戸アンケート配布などの、美浜原発3号機反対運動を展開されていまして。

ナ禍の今こそ「廃炉」である。若狭の原発で事故があれば、現地からの避難者を受け入れつつ私たちも避難しなければいけない、どこに避難しても密であり、クラスターが発生するであろう。避難は到底無理である」と声を上げている。

また先日は、姫路・高砂・加古川市と加古郡の3市2町に「関西電力の運転開始後40年を超える原発の再稼働反対表明と原発事故避難者受け入れについて」の申し入れを行った。前回と比べ職員の意識も落ちていることを感じた。が、やれることから地道に行動に移していくしかない。

最後に、今日のように各地

6月19日、20日はアンケート配布行動でした。「老朽原発うごかすな！実行委員会」は、関西から有志12人を募って、20日の配布行動に参加しました。12時に集合場所のJR美浜駅に到着。続々と嶺南地区の方々等が結集され、30余名の人員での行動となりました。福井の皆さんの意気込みをひしひしと感じました。

てのコールにパワーをいただいて帰路に着いた。
(脱原発はりまアクション 宮寄やゆみ)

美浜駅前アンケート配布の打ち合わせ



配布物は①アンケートのお願い文、②アンケート、③老朽原発の危険性を訴えるチラシ、④返信用封筒がビニール袋にセットされていました。このセット作業もオール福井の皆さんの手作業でされています。

アンケートは、美浜3号機の再稼働を前に、美浜町民に、老朽原発再稼働の問題点を訴え、共感を呼び覚ませるようなものをと考えられています。が、やはり住民の率直な思いを知りたいという、同じ原発立地の悩みを抱えた人だからこそ考えられたアンケート内容となりました。アンケート結果は、新聞折込でお知らせするということです。

「数は力なり」です。30人もの手と足でポスティングすれば、短時間で終わります。

関西から参加した有志は、いつもアメーバデモでチラシ配布している経験が活かされ、お馴染みの地区に、次々と配布を終えました。福井の皆さんと、関西の私たちが共に、力を合わせて行ったアンケート配布は、充実と連帯を感じることができると貴重な時間となりました。その後、関西の有志は、17日の美浜でのアメーバデモで未配布の地域にチラシを配布し、美浜原発3号機の再稼働が画策されている23日には、各地から総力を結集して阻止行動を展開することをみんなで確認しあつて、帰路につきました。

(実行委員会 橋田)

大阪地裁に老朽美浜3号機 運転禁止仮処分を申し立て！

昨日、大阪地裁に老朽原発美浜3号機の運転禁止を、求める仮処分の申し立てが行われました。(詳細の報告は、次号に。)

